

ふりがな 氏 名	のなか みつよ 野中 光代		職 名	助教
取 得 学 位	博士(看護学)	学会での受賞歴	日本看護研究学会 2021 年度奨励賞	
主な担当科目	公衆衛生援助論Ⅰ、公衆衛生看護活動展開論、公衆衛生看護学実習、看護学研究ゼミナール			
所 属 学 会	日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本公衆衛生看護学会、日本自閉症スペクトラム学会			

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
グループでロールプレイの実施	平成 30 年 4 月 令和元年 5 月	保健師選択 4 年生の母子保健演習で、新生児訪問事例を用いて、母親、保健師、観察者のロールプレイを実施した。(相山女学園大学看護学部 公衆衛生看護技術論)
グループディスカッション、グループワーク、グループでの健康教育の実施	平成 30 年 6 月 25 日～7 月 20 日 平成 30 年 9 月 3 日～9 月 14 日	保健師選択 4 年生の実習を、春日井保健所、春日井市、知多保健所、常滑保健センターで 6 名、新日鐵住金、大同特殊鋼本社・築地テクノセンターで 11 名担当した。工場従業員、地域住民への健康教育(じん肺予防、ウォーキング、口腔機能の向上、)をグループ毎に企画し、現地指導者とも修正を重ね、実施した。現地の地域診断について、グループワークを実施した。 (相山女学園大学 公衆衛生看護学実習)
グループディスカッションの実施	平成 30 年 12 月 3 日～14 日 令和元年 12 月 2 日～13 日	名古屋第一赤十字病院消化器内科病棟で、学生が初めて患者を 1 名受け持ち、看護過程を展開する実習で、2 年生 5 名を担当した。 (相山女学園大学看護学部基礎看護学実習)
グループディスカッションの実施	平成 31 年 1 月 7 日～1 月 25 日	愛知県がんセンターにて 3 年生 4 名の慢性期実習指導を担当した。(相山女学園大学看護学部 成人老年看護学実習)
グループワーク、グループ発表、ディスカッションの実施	平成 31 年 4 月 8 日～5 月 9 日	保健師・養護教諭選択 20 名が、2～3 名のグループで、学校、地域、産業の場面での健康教育計画書、指導案、媒体を作成し、発表する演習を担当。 (相山女学園大学看護学部 健康教育指導論Ⅱ)
インターネット等による情報収集、グループワーク、グループ発表、ディスカッションの実施	平成 31 年 4 月 18 日～6 月 6 日	保健師選択 4 年生 15 名の実習地の市と保健所の地域診断の演習を担当した。グループごとに、実習地の地域診断をインターネットで情報収集し、健康課題をまとめて発表し、全体でディスカッションを実施した。 (相山女学園大学看護学部 公衆衛生看護支援論演習)
実習事例を用いた講義の実施	令和元年 5 月 15 日	保健師選択 4 年生 15 名の事例管理の授業を担当した。 (相山女学園大学看護学部 公衆衛生看護管理論行政看護領域)

事 項	実 施 年月(日)	概 要
事例を用いた家庭訪問の展開演習の実施 による訪問計画、訪問後の記録の作成	令和元年 5 月 27 日 令和元年 6 月 5 日	保健師選択 4 年生 15 名の結核患者への家庭訪問計画 立案、実施後の記録作成の演習を担当した。(相山女学 園大学看護学部 公衆衛生看護技術論感染症保健活動 における援助)
グループディスカッション、グループワーク、グループ での健康教育の実施	令和元年 6 月 24 日～7 月 19 日 令和元年 9 月 2 日～9 月 13 日	保健師選択 4 年生の実習を、瀬戸保健所、瀬戸市保健 センター、一宮保健所、一宮西保健センター、名古屋市 中区保健センターで 9 名、日本製鉄、大同特殊鋼星崎工 場・築地テクノセンターで 15 名担当した。工場従業員、 地域住民への健康教育(じん肺予防、感染症予防、30 歳 女性の野菜摂取、成人のウォーキング)をグループ毎に 企画し、現地指導者とも修正を重ね、実施した。現地の 地域診断について、グループワークを実施した。 (相山女学園大学看護学部 公衆衛生看護学実習)
グループワークと発表、ディスカッションの実施	令和元年 9 月～10 月	保健師選択 4 年生 15 名の公衆衛生看護学実習(行政・ 産業)での学びのまとめと共有の演習を担当した。 (相山女学園大学看護学部 公衆衛生看護統合実践論)
勉強時間計画作成、小テストの実施	令和元年 12 月 16 日	看護師国家試験模試の成績不良者 33 名の特別強化教 室(法律・統計)を担当した。(相山女学園大学看護学部)
Gleixa、Google classroom を用いたオンデマンド演習 (健康教育)の実施	令和 2 年 4 月～5 月	保健師・養護教諭選択 19 名が、各自で、健康教育計画 書、指導案、媒体を作成し、ピアレビューするオンライン 演習を担当した。(相山女学園大学看護学部 健康教育 指導論Ⅱ)
Google classroom を用いたオンデマンド演習(地域診 断)の実施	令和 2 年 4 月～7 月	保健師選択 4 年生 15 名の実習地の市と保健所の地域診 断のオンライン演習を担当した。 (相山女学園大学看護学部公衆衛生看護支援論)
Google classroom を用いたオンデマンド授業の実施	令和 2 年 5 月 20 日	保健師選択 4 年生 15 名の事例管理のオンライン授業を 担当した。(相山女学園大学看護学部公衆衛生看護管理 論行政看護領域)
Google classroom を用いたオンデマンド演習の実施	令和 2 年 6 月 1 日・8 日	保健師選択 4 年生 15 名の結核患者への家庭訪問事例 のオンライン演習を担当した。 (相山女学園大学看護学部公衆衛生看護技術論感染症 保健活動)
グループディスカッション、グループワーク、グループ での健康教育の実施	令和 2 年 6 月 29 日～7 月 22 日	保健師選択 4 年生の実習を、春日井保健所、春日井市、 一宮保健所、一宮西保健センター、名古屋市長区保健 センターで 9 名担当した。地域住民への健康教育(多胎 児の母親、乳がんの自己検診、乳児の事故予防)をグル ープ毎に企画し、現地指導者とも修正を重ね、実施し た。現地の地域診断について、グループワークを実施し た。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
Zoom を用いた工場内診療所とのオンライン実習、工場従業員に対するオンライン健康教育、Google Meet を用いたロールプレイ、グループディスカッションの実施	令和 2 年 8 月～ 令和 2 年 9 月	(相山女学園大学看護学部 公衆衛生看護学実習) 保健師選択 4 年生の実習を、日本製鉄、大同特殊鋼星崎工場、デンソーとのオンライン実習と、工場従業員へのオンラインでの健康教育(慢性腎疾患予防)、オンラインでの特定保健指導のロールプレイを 15 名担当した。 (相山女学園大学看護学部 公衆衛生看護学実習)
Google Meet を用いたグループワークと発表、ディスカッションの実施	令和 2 年 9 月～ 令和 2 年 10 月	保健師選択 4 年生 15 名の公衆衛生看護学実習(行政・産業)での学びのまとめと共有の演習を担当した。 (相山女学園大学看護学部 公衆衛生看護統合実践論)
グループワーク、ロールプレイ、発表、ディスカッションの実施	令和 3 年 6 月	保健師選択 3 年生 12 名の新生児母子への家庭訪問事例の演習を担当した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 公衆衛生看護支援論 I 家庭訪問)
講義内容に関連した個人課題の実施	令和 3 年 6 月～7月	保健師選択 3 年生 12 名の講義を 4 回担当し、障害者事例による制度・予防接種に関する課題を実施した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 公衆衛生看護活動展開論 障害者保健の動向・課題と保健指導 感染症の動向・課題と保健活動)
グループディスカッション、グループワークの実施	令和 3 年 8 月 2 日～6 日	看護学科 1 年生 5 名の実習を担当し、新生会第一病院と学内にて、患者理解、療養環境、コミュニケーション、看護者の役割、多職種連携について、グループディスカッションとグループワークを実施した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 基礎看護学実習 I)
模擬演習を用いた進路説明	令和 3 年 9 月 17 日	看護師を目指す高校 2 年生に進路説明会を実施した。 (愛知県立衣台高等学校 進路説明会)
グループディスカッションの実施	令和 3 年 9 月 13 日～10 月 1 日 10 月 18 日～11 月 5 日	看護学科 3 年生各 5 名の実習を担当し、名古屋掖済会病院にて、学生受け持ち患者のケースカンファレンス、中間カンファレンス、最終カンファレンスを実施した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 成人看護学実習 I 慢性期)
グループディスカッション、事例を用いた看護過程の展開、模擬患者を用いたバイタルサイン測定・足浴、Zoom による病院との合同カンファレンスの実施	令和 4 年 2 月 21 日～3 月 4 日	看護学科 2 年生 5 名の臨地実習中止に伴う学内実習を担当し、臨地での実習態度や患者の変化に対応した看護過程の展開への理解を深める目的で、グループディスカッション、事例を用いた看護過程の展開、模擬患者を用いたバイタルサイン測定・足浴、Zoom による病院との合同カンファレンスを実施した。
具体的な模擬計画を用いた講義の実施	令和 4 年 4 月	保健師選抜 4 年生 11 名に、オムニバスで 3 回の学校保健の講義を具体的な模擬学校保健計画を用いて実施した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 公衆衛生看護学実習 I)

事 項	実 施 年月(日)	概 要
事例を用いたグループワーク、ロールプレイ、発表、ディスカッションの実施	令和 4 年 6 月 7 日～7 月 19 日	護支援論Ⅱ) 保健師選択 9 名の新生児訪問演習を担当した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 公衆衛生看護援助論Ⅰ)
小テストを用いた講義の実施	令和 4 年 6 月	保健師選択 9 名の感染症の保健指導と障害者の保健指導の講義を 4 回担当した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 公衆衛生看護活動展開論)
「測定機器を使った生活習慣の振り返り」によるオープンキャンパスでの模擬授業の実施	令和 4 年 7 月	看護学部を志望する高校生親子に、糖度計・塩分測定器・活動量計を用いた公衆衛生看護学の模擬授業を実施した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科)
個人の実習目的と実習計画作成を用いた実習の実施	令和 4 年 4 ～10 月	保健師選択学生の実習指導を担当した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ)
自己学習に基づいたオンラインによるグループワークを用いた健康教育の企画と、直接地域住民への健康教育の実施	令和 4 年 7 ～9 月	保健師選択学生の地域住民への認知症予防の健康教育の企画、実施の実習を担当した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 公衆衛生看護学実習Ⅰ)
自己学習に基づいたグループによる演習、グループディスカッションの実施	令和 4 年 8 月	看護学科 1 年生 5 名の初めての病院での患者とのコミュニケーションと見学により、患者の療養環境や看護師の役割を知る実習を担当した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 基礎看護学実習Ⅰ)
	令和4年 10 ～11 月	看護学科 3 年生 5 名 2 クールの入院している高齢者の看護を学ぶ実習を担当した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 老年看護学実習)
	令和 5 年 2 月～3 月	看護学科 2 年生 4 名の初めての受け持ち患者への看護過程の展開する実習を担当した。(名古屋女子大学健康科学部看護学科 基礎看護学実習Ⅱ)

#### ◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備 考
論 文	自閉症を伴う在宅重度知的障害者に対する母親の肥満容認プロセス	共	令和元年 9 月	日本看護研究学会誌 42 巻 4 号	野中光代、古田加代子、柴邦代 p.725-734
	自閉症を伴う成人重度知的障害者の肥満改善に向けた母親への介入プログラム案の作成	共	令和 2 年 12 月	愛知県立大学看護学部 紀要 26 巻	野中光代、柳澤理子、深田順子、戸田由美子 p.61-71
学会発表	自閉症を伴う在宅重度知的障害者の母親が子どもの肥満を容認するに至ったプロセス	共	令和元年 8 月	第 44 回日本看護研究(熊本)	野中光代、古田加代子、柴邦代 抄録集 p.162

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	自閉症を伴う成人重度知的障害者の肥満改善に向けた母親への介入プログラム案の作成	共	令和2年 1月	第8回日本公衆衛生看護学会学術集会(松山)	野中光代、柳澤理子 講演集 p.224
	自閉症を伴う成人重度知的障害者の肥満改善に向けた母親への介入プログラム開発	共	令和3年12 月	第41回日本看護科学学会学術集会(Zoom)	野中光代、柳澤理子 講演集 P18-06
	国内外におけるヤングケアラーと親に関する文献検討	共	令和5年3 月	第27回日本看護研究学会東海地方会学術集会	福田愛子、野中光代、河合桂子、飯盛茂子 講演集 p.25